

代 表 質 問 の 通 告 議 員 と 要 旨 一 覧

§ 5 番 山 本 賢 吾 (創生加古川)

1. 公共施設等総合管理計画について
 - (1) 休廃止施設の再利活用の考え方について
 - (2) 進捗状況と見直し等の考え方について
 - (3) 施設の適正配置についての考え方について

2. 防災対策について
 - (1) 初動体制について
 - (2) 災害時の職員配置について
 - (3) 各種協定について
 - (4) 防災訓練について

3. 加古川市の土地利用について
 - (1) コンパクトの考え方について
 - (2) 産業誘致について

4. 新規事業の採択について
 - (1) 新規事業の採択について

5. 加古川市の夢、市長の夢について
 - (1) 加古川市の夢、市長の夢について

§ 25 番 相 良 大 悟 （公明党議員団）

1. 若い世代の支援について
 - （１）「こども・若者計画」の具体的な目標と目的について
 - （２）高校生及び大学生世代の若者に対する支援の趣旨と期待する効果について
2. 教育を振興するための施策について
 - （１）教育環境を充実させるための具体的な施策について
 - （２）不登校対策の具体的な取り組みについて
3. 文化・芸術の振興について
 - （１）「棋士のまち加古川」の今後の目標と目的について
 - （２）加古川市ウェルネス協会の経営基盤の強化及び連携の趣旨と期待する効果について
 - （３）「加古川総合文化センターエリア」の今後のビジョンについて
4. 高齢者支援の仕組みづくりについて
 - （１）介護保険制度における総合事業の見直しについて
 - （２）相談機能の取り組みの趣旨と期待する効果について
5. 地域医療の充実について
 - （１）救急安心センター事業（＃7119）参画の今後の予定と期待する効果について
6. 防災対策について
 - （１）本市の災害関連死を防ぐための対策について
 - （２）「福祉」の視点を取り入れた支援体制の整備について
 - （３）学校体育館のエアコン早期設置について
7. 消費者保護対策について
 - （１）デジタル化に伴う消費者被害を防ぐための具体的な対策や啓発活動について
8. ゼロカーボンシティ実現に向けた電力地産地消について
 - （１）「地域新電力会社」設立後の電力の供給対象になる施設について
 - （２）第三セクターによる「電力地産地消」に対する懸念について

- (3) 発電電力の活用以外に「電力地産地消」への役割を果たせる可能性について

9. 「居心地が良く、歩きたくなるまちなか」について

- (1) J R加古川駅から河川敷を含む一帯のエリアの位置づけと将来のビジョンについて

§ 2 2 番 山 本 一 郎 (かこがわ市民クラブ)

1. 中期財政計画について
 - (1) 中期財政計画の策定状況について
 - (2) 加古川駅前再開発等の大型事業に対する資金調達について

2. 本市が考える教育に関する新たな取組みについて
 - (1) 現在の部活動の役割と（仮称）加古川地域クラブ活動移行による課題について
 - (2) かこがわ教育ビジョンにおける教職員の資質向上について
 - (3) 学習指導要領における生きる力について

3. まちづくりの進め方について
 - (1) ウェルビーポイント制度について
 - (2) 行政手続きのオンライン化について
 - (3) 広域的なまちづくりの推進について
 - (4) まちづくりは人づくりについて

§ 14番 藤 原 み つ え (かこがわ未来の会)

1. 持続可能なまち加古川にするための市民の命と健康について

(1) 持続可能なまち加古川にするための市民の命と健康について

§ 17 番 落 合 誠 (加古川維新の会)

1. 播磨臨海地域道路インターチェンジ周辺の整備について
 - (1) 発展的な市街化調整区域の開発行為について
 - (2) 雇用を拡大する新たな産業用地による更なる企業誘致について
 - (3) 賑わいの創出につながる加古川初の道の駅整備について

2. 市民ニーズにあった子育て支援・保育の充実について
 - (1) 0歳児・1歳児をはじめ市民ニーズに対応した保育の確保について
 - (2) 子育て支援を実感できる駅前保育ステーションの整備について
 - (3) 民間事業者の継続的な協力につながる支援制度について

3. 職員の人手不足解消に向けた働き方改革や支援について
 - (1) 予算規模から見た適正な職員数と時間外勤務等の削減について
 - (2) 新たな人材の安定的な確保について

4. 2025年大阪・関西万博に子どもたちを招待する取組について
 - (1) 万博来場による子どもたちの体験・体感する意義について
 - (2) 万博子ども招待プロジェクトを活用しての学校単位での参加について
 - (3) 誰一人取り残さない子ども全員への招待券の配布について